

市民派ネット通信

〒562-0003 箕面市西小路4-6-1 市民派ネット控え室 Tel&Fax 072-724-6703 e-mail : shiminhanet@gikai.city.minoh.osaka.jp

— 2009 年度の施政・予算方針をめぐって —

「持続可能なまちづくり」の中味を問う

開発・拡大路線のまちづくりより、ともに支え合い寄りそえる地域の再生を！

●「緊急プラン」は 2009 年度の施政方針にどのように取り入れられたか？

昨年 12 月に副市長をリーダーとするプロジェクトチームが財政改革のための「緊急プラン」を提案しました。年明けから駆け足で市民向け説明会が開催されましたが、市内 3 箇所計 4 回行われた会場に市長や副市長は姿を見せず、市民の声を直接聞くことはありませんでした。パブリックコメント（市民意見）は過去最高の 500 件を超え、その大半が福祉や社会保障、子育て支援の削減に反対し、行政や議会の姿勢を問う厳しい内容でした。

1 月 15 日には市民意見を締め切り、庁内でスピード審議されて 2 月に「緊急プランを反映した施政・予算方針」が発表されました。とくに市民意見が集中した「保育料金の値上げ」や「障害者事業団補助事業」などは、2010 年度に先送りされましたが、09 年度は国民健康保険料の値上げや奨学金制度の見直しなどに代表されるように、経済的弱者にとっては厳しい内容となっています。

●深刻な不況が続くなかで、今、市民の生活実態に沿った施策が必要

昨今の情勢下で、安定した就職が定まらない若者や失業・減収の市民が増加し、乏しい年金収入で介護者と暮らす高齢世帯など、将来不安が増しています。市長のいう「元気な市民を増やす」ためにも、このような時期に福祉や社会保障、子育て支援に予算を配備し、市民生活を底上げしなくてはなりません。

●サービス低下で箕面市の特徴（良さ）が半減！「営業課」で何を売り込むのか？

財政が厳しいからといって市民サービスを削り市民負担を増加させると、市民の活力低下につながり、内需も縮小して、悪循環となります。外に向けての発信・宣伝も大事ですが、まず市民の生活実態の把握や適切な対応策、支えあい共生・協働のまちづくりにも力を注ぐべきではないでしょうか。

●今こそ「エコCITY」を箕面ブランドの目玉に

施政方針の柱には「緑」が位置づけられています。が、残念なことに環境問題に積極的に取り組む姿勢が見えません。自然環境に恵まれた箕面だからこそ、エコな街づくりを柱に推進し、「エコCITY」に取り組むことが箕面ブランドにふさわしいと考えます。

●北大阪急行の延伸は、市民負担を明らかにして全市的な合意のもとで実施すべき

北急の延伸には莫大な工事費用と維持管理費が必要であり、子々孫々に負担を負わせることとなります。費用負担の情報もしっかり市民に公開・提供し、市民の合意で事業を決定すべきです。

●彩都の小中一貫校建設も一旦凍結し、事態を見守るべき！

厳しい経済情勢と今後の人口動向を考えると、少なくとも今は見通しがたつまで一旦中断する勇気が必要です。私たちは新たなまちの拡大よりも今ある社会資源を活かし、地域の再生をめざします。

2月議会レポート／常任委員会

文教常任委員会 中西 とも子



- 奨学資金制度の見直しで、格差拡大か!?
- 全中学校にエアコン設置、環境負荷に対する施策はなし。
- 小学校（1～2校分）の全校庭を芝生化に！水道代は数百万円!?
- 彩都の小中一貫校の建設、しばし凍結を要望！

今回の審査は施政方針で示された子育てや教育について今後の市の方向性や「緊急プラン」による見直し事業などの議論が中心となりました。

主な争点としては、①箕面市独自の制度であった「奨学資金制度」の見直し ②全中学校へのエアコン設置 ③大阪府の事業を採用した小学校の全校芝生化 ④彩都に予定している小中一貫校建設の一時凍結（提起）などでした。

中西は、現在の社会・経済情勢のなかで教育を受ける権利が危うくなっている子どもたちが増え、ますます格差拡大が懸念される現状を、行政がしっかり受け止めて政策に反映するべきだという立場で委員会に臨みました。

奨学資金制度の見直しは積み立て基金から新たに運用基金を設置し、基金の規模を縮小。現在、分納・完納が45%にとどまっていることから、「持続可能な制度にするため」と称して、申請に必要な保証人を従来の1名から2名にし、返還時期も現行の卒業の翌年から1年繰り上げて卒業の翌月からとする案が提案されました。本来は、就学を支えるための検討や、返還できない原因を究明するべきで、貸付金の回収を優先し、大学生用の枠も撤廃するという制度は納得できかねます。民間の奨学金制度も厳しくなっており、利用を控える子どもが増えることが予想されるため、条例案には反対しました。

そのほか中西は、就学援助児童・生徒に対する支援のありかたや、ひとり親家庭、森町の認定こども園、外郭団体への事業委託、立て続けにおこった職員のセクハラ事件に対する今後の市のとりくみ姿勢などを質し（たどし）ました。

民生常任委員会 尾上 てるみ



- 国民健康保険（保険料の見直し）に反対！
- 介護保険料は（基金を取崩し）原則、据え置き！
- 箕面市立病院の経営は独立採算を目指す！（地方公営企業法の規定を全部適用）

民生常任委員会での争点は3つです。

①国民健康保険は国民皆保険制度を支える大切な保険で箕面市の35%の世帯、後期高齢者医療制度導入以前は45%の世帯が加入していた保険ですが、国・府からの補助金などが国保会計の全体の50%から今では44%に減らされ、また医療費が年平均3%アップしており、構造的な赤字サイクルに苦しんでいます。そもそも増え続けている医療費などを保険料値上げでカバーするには、無理があり、経済の状況が厳しい今値上げするのは市民の暮らしを顧みない施策といえます。値上げの前に国に強く要望すると同時に、国保の現状や一般財源からの赤字補填に対する理解を得るため、市民への説明や、議論、周知がもっと必要です。

未曾有の経済危機の今こそ市民の暮らしと安全を守るという市の責任は重大です。

市民生活最優先という考えなら不要・不急の彩都の学校建設、北急延伸の基金積立などは延期して、市民のくらしを守るべきです。

②介護保険料は所得階層を8段階から11段階へきめ細かく変更し、基金を取り崩して、加入者数の多い年間400万円以下の所得層の料金はなんとか据え置かれることになりました。

③病院の地方公営企業法の全部適用には組合の合意が得られていることを確認し賛成しましたが今後、健全な病院運営を図るため外部委員会など第三者機関の評価を得られるような仕組みづくりが必要です。

その他では箕面市の農産物の残留農薬基準についてその安全性やエコ農産物について質問しました。

市民派ネットのメンバーは4人です。常任委員会はちょうど4委員会あるので、それぞれ役割分担して、委員会に所属し、互いに情報交換をしつつ、各自が議員としての最終判断を行うことにしています。

建設水道常任委員会 森岡 秀幸



- 北大阪急行延伸基金に5,000万円積立は妥当か！
- 消防は鳥インフルエンザ対策盛込む
- 水道部の名称が「箕面市上下水道局」に

2月議会の建水常任委員会は、予算や条例等20の議案が上程され、予算関連は2008年度の補正予算、2009年度新年度予算と緊急雇用関連の補正予算が審査されました。

新年度予算は、市道小野原豊中線の完成により、ごみ処理費や公園・みどり、道路の維持管理など市民生活を支える継続的な事業が中心となり、新規の市独自の施策はほとんどありません。「緊急プラン ゼロ試案」を受けてこれら継続的な事業も大半が縮減されています。その様な中で5,000万円の「北大阪急行延伸」の基金への積立が目立ちます。12月の補正でも5,000万円が積立てられ、市長の積極的な推進姿勢が改めて明確に示されました。事業費や府市の負担割合などが未定で、この時期にこの金額が妥当か疑問が残ります。バス路線検討は、市民を加えた「地域公共交通活性化協議会」で2年後の実証運行に向けて議論されることになりました。

他に懸案である桜井駅周辺整備についての取組準備が新たな動きといえます。

ごみ処理関連の衛生費も、個々の事業はどれも縮減されますが、NOx規制対象の車両更新が加わり、全体として前年とほぼ同額となります。

消防費もNOx規制の対象車両以外は縮減され、救急車も更新を先送りしていますが、新たに鳥インフルエンザ対応の資器材が計上されました。

森岡は主に「民間建築のアスベスト対策の推進」や「清掃工場にある市民工房の今後のあり方」、「コンポスト事業の食育との連携」など環境施策や交通、公契約について質しました。

総務委員会 北川 てる子



- 「みんなの箕面の緑の寄付金条例」できる
- 「事務分掌条例（役所の機構改革案）」に反対
- 「21年度予算（緊急プランの反映）」も反対

「寄付金条例」は、国で創設された「ふるさと納税」をみんなに知って頂き、箕面市に対する寄付金の受け皿をきっちり作ることで、収入源を増やそうとするものです。「ふるさと納税（寄付金）制度」とは、生まれ故郷や応援したい自治体へ寄付した場合、今住んでいる自治体の住民税などから、＜寄付金額－5,000円＞の金額が控除される制度です。「緑の寄付金」という名前ですが、緑以外にも用途を指定することができ、10,000円以上寄付して下さった方には、市の特産品や絵ハガキなどが、お礼としてプレゼントされます。

「事務分掌条例」は市役所の部や課の組織構成を変え、職員体制の充実を図るものです。市長案では「地域創造部」という新しい部の中に「箕面営業課」をはじめ商工観光・広報・交通・北急延伸の課を置き、箕面ブランドのPRに努めるとのことです。しかし、肝心の「地域創造～どんな理念でどんなまちづくりをするか～」というビジョンをしっかりと創造していく課がありません。「ゆず・滝・もみじ」の営業もいいですが、箕面の本当の良さは、「独自の手厚い社会保障制度」や「市民力～活発な市民活動や協働」・「森林や農地などのみどり空間」です。本来、重視すべきそれらの良さを維持し、市民と共に総合的に拡大していくことが地域創造だと思うのですが、緊急プランで削りおざなりにして、上っ面の対外的なPRに走るこの体制は、いかななものかと思直しを求め反対しました。

他にも、「資産（土地・建物）の一元的な管理体制づくり」や「滞納対策のあり方」「職員力の推進」「防災組織」など提案・質疑しました。

議会改革会議はじまる

各会派から提案が出揃いました。

地方議会が問われる中、箕面市議会でも今年、「議会改革会議」を立ち上げました。「議会の活性化」や「経費の削減」を柱に、2010年度からの議会運営や予算に反映させていきます。

会議の持ちかたについて、市民派ネットは、「公開の場で、全議員が参加できる形式で取り組むべき」と提案しましたが、自民・民主・共産・公明の各党が、「幹事長会議の中でやっていけばいい」と主張。無会派の議員が参加できない幹事長会議（議長・副

議長・各会派の幹事長5名）で、検討することになりました。

1月に、各会派などから、議会改革の項目案を提出。下の表にもあるように、議会事務局提案を含む67件が出揃いました。

他会派からの提案には、徹底的な議論が必要な委員会の質疑に「時間制限を設ける」など、後ろ向きな内容もありますが、3月中には、項目を選び、いよいよ具体的な検討に入っていきます。

議会改革提案の項目一覧(抜粋・順不同)

自民党市民クラブ	2件	①常任委員会や本会議の質問時間の制限 ②市議会だよりの早期発行
民主党	0件	
共産党	5件	①会派視察や一般行政視察の廃止 ②本会議発言席の向きの変更 ③車椅子使用議員の発言席の改修 ④議員団費の使途の改革 ⑤聴覚障害者の委員会傍聴時の対応
市民派ネット	28件	①市内各地での議会報告会の開催の試行 ②議会のインターネットライブ中継と録画の配信 ③傍聴席の環境整備 ④議会基本条例の制定 ⑤各種審議会などの参加見直しと報酬廃止 ⑥役職加算の廃止 ⑦市長の反問権 ⑧視察の見直し ⑨本会議質疑のあり方（一問一答式など）ほか19件
公明党	12件	①委員会・本会議での発言時間の制限 ②委員長報告の簡略化 ③議会基本条例の制定 ④本会議の質疑を一問一答式に ⑤本会議のインターネット配信 ⑥子ども議会の開催 ⑦委員会室・本会議場の改修 ⑧本会議での通告なしの発言の制限ほか4件
無会派(3名)	0件	
	1件	①全議員を対象とした議会改革会議の場の設置
	4件	①議長副議長の任期を複数年に ②市長の反問権の付与 ③常任委員会のFMタッキー放送 ④委員会での議員相互の自由討議
議会事務局	15件	①視察時の送迎の廃止 ②一般行政視察の廃止 ③本会議のインターネット中継ほか12件

市民派ネット 2月議会報告会

2009年度の 施政&予算と「緊急プラン」について

みなさまのご意見もお聞かせください。

日 時：2009年4月12日(日)
午後2時～4時

場 所：中央生涯学習センター
(メイプルホールの建物) 3階講座室

参加費：無 料

主 催：市民派ネット

問合せ先：090-2061-5805(森岡)

この通信は政務調査費で発行しています。

◆◆第二回定例議会のお知らせ◆◆

6月1日 本会議(1日目AM10:00 開会)
4日～9日 各常任委員会
22日 本会議(2日目)
23日 本会議(3日目)閉会

編集後記 ■■■■■■■■■■

新メンバーに変わって7ヶ月がすぎました。この間に3回の議会が開かれ、補正、決算、予算や山麓開発問題、健康保険料金改訂、緊急プラン、議会改革などめまぐるしく変わる課題に追われ、まさに〈光陰矢のごとし〉を実感。会派も攻守が入れ替わり、そんな中での通信の発行となりました。皆さんのご意見・感想を伺いながら、市民が主役の議会実現を目ざします。